

奥出雲町の目指す子ども像について

【目指す子ども像】

奥出雲町への愛着と誇りをもち、
自らとふるさとの未来を切り拓こうとする子ども

具体的には

- 奥出雲町で暮らし続けたいと思う子ども
- 奥出雲町を離れても、やがて奥出雲町で暮らしたいと思う子ども
- 奥出雲町を離れても、奥出雲町に関わり、奥出雲町を支えたいと思う子ども
- 奥出雲町との関わりを誇りとし、社会に貢献しようとする子ども

の育成と、その基盤となる「生きる力」を育む教育活動の実践を目指します。

【取組の柱と育てたい力】

幼・小・中・高が連携し、それぞれの発達段階に合わせ、

- ① ふるさと教育
- ② キャリア教育
- ③ 学力育成

の三つを柱とし、目指す子ども像への取組を進めます。

①「ふるさと教育」においては、

「いつでも どこでも だれにでも 奥出雲町のよさが語れる子」をスローガンとし、奥出雲町のひと・もの・ことに関わる体験・学習を基に、奥出雲町への愛着や誇り、豊かな感性を醸成するとともに、地域の課題に気づき、関わろうとする意欲を培います。そのための資質となる奥出雲町の自然・人・文化・歴史・産業などへの理解をもととした奥出雲町への愛着心、奥出雲町のよさや自分の思いを表すための豊かな表現力、情報発信力の育成に取り組めます。

②「キャリア教育」においては、

「いつでも どこでも だれとでも かかり合って成長する子」をスローガンとし、多様な人と関わりながら、夢や将来における志を持ち、自らと社会の未来に向かって主体的に生きる資質・能力を育てることを目指します。そのため、自己肯定感を基盤とし、コミュニケーション能力や自立心、先を見通す力やキャリアプランニング能力などの育成に取り組めます。

③「学力育成」については、

「いつでも どこでも 何にでも 意欲をもって取り組む子」をスローガンとし、発達段階と、一人ひとりの実態に応じた指導・支援を軸に、変化にも対応できる確かな学力、生きる力の基礎となる健やかな心と体を育成します。そのため、主として、基礎学力の定着、課題発見・解決力、判断力の育成に取り組めます。

全体構想イメージ図

